

水戸市新斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザルの選定結果及び審査講評について

1 はじめに

本市においては、今後増大が見込まれる火葬需要に対応するため、新斎場の整備に向けた取組を進めており、平成31年2月に策定した「水戸市新斎場整備基本計画」のなかで、新斎場の施設機能として火葬炉4基を整備することとしました。

火葬炉は、技術的な専門性が高い特殊な設備であるとともに、非常災害時においても安定した稼働継続が求められることなどから、設備の安全性、信頼性等に関する専門的な技術について、経済性ととも評価する必要があります。

このことから、新斎場における火葬炉の整備予定者として適正な事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

また、公募型プロポーザルの実施に当たっては、外部の学識経験者で構成する水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会に客観的かつ公平・公正な評価を依頼し、その評価を踏まえ、整備予定者及び次点者を選定しました。

2 選定までの経過

- 令和元年10月15日 プロポーザル公告
- 令和元年10月30日 参加表明書の提出期限（2者提出）
- 令和元年10月25日 質問書に対する回答
- 令和元年11月8日 参加資格審査結果通知（2者承認）
- 令和元年11月20日 技術提案書の提出期限（2者提出）
- 令和元年12月28日 プレゼンテーション及びヒアリングの実施
- 令和2年1月10日 整備予定者の選定

3 水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会

(1) 委員（順不同・敬称略）

- 稲垣 照 美（茨城大学工学部教授）
- 小瀬 博 之（東洋大学総合情報学部教授）
- 佐々木 直 栄（日本大学工学部教授）
- 佐藤 理 夫（福島大学共生システム理工学類教授）※委員長
- 西岡 牧 人（筑波大学システム情報系教授）※副委員長

(2) 会議の開催経過

- 令和元年10月6日 第1回会議
内容：委員長及び副委員長の選出について
火葬炉の選定方法等について

公募型プロポーザルの実施スケジュールについて

その他

令和元年12月28日 第2回会議

内容：技術提案等の評価並びに最優秀者及び次点者の選定について

その他

(3) 評価結果

ア 評価点

評価項目		株式会社宮本工業所	富士建設工業株式会社
会社概要	組織及び体制	3.00	3.25
	実績	3.00	3.25
技術提案	設計等業務協力の実施方針	6.50	6.50
	火葬炉設備の基本的な考え方・型式・特徴	7.00	6.50
	環境への配慮	6.00	8.00
	安全対策・耐震性	6.00	7.00
	運転・保守に関する提案	6.00	6.50
価 格	施設整備費	18.85	20.00
	維持管理費	11.31	20.00
合 計 (100点満点)		67.66	81.00

イ 評価結果

最優秀者 富士建設工業株式会社 : 81.00点

次点者 株式会社宮本工業所 : 67.66点

4 選定結果

水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会による評価結果を踏まえ、次のとおり選定しました。

整備予定者（最優秀者） 富士建設工業株式会社

次点者 株式会社宮本工業所

5 審査講評について

水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会の審査講評は、次のとおりです。

水戸市新斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザル 審査講評

選定評価委員会の委員は、専門分野の知見と様々な自治体委員を務めた経験を生かし、本プロポーザルの評価に携わりました。

水戸市新斎場火葬炉設備工事に係る公募型プロポーザルの実施に当たっては、2者から参加表明書及び技術提案書の提出がありました。

2者から提出された技術提案書は、いずれも要求水準書に則ったものであり、豊富な施工実績により高い信頼性が裏付けられ、市が要求する水準を上回る内容と認められました。多大な労力と時間の負担があったと想定されるなかで、提案内容を取りまとめた2者の熱意に敬意を表するとともに、深く感謝いたします。

審査は参加者名を伏せた形で行い、「組織及び体制」、「実績」、「設計等業務協力の実施方針」、「火葬炉設備の基本的な考え方・型式・特徴」、「環境への配慮」、「安全対策・耐震性」、「運転・保守に関する提案」、「施設整備費」及び「維持管理費」の各項目について厳正に評価しました。

その結果、富士建設工業株式会社による提案を、市の期待する設備の安全性・信頼性等に関する専門的技術と経済的な効率性が、より高いレベルで両立されているものとして評価し、同社を最優秀者としたものです。

【富士建設工業株式会社】

全体として、火葬炉設備の安全・確実な稼働の確保という観点から、安定感のある提案として受け止められました。

環境への配慮については、環境保全目標値を踏まえた保証値を確実に達成することについて、既存施設における実績資料を踏まえた提案が、より説得力のある説明として評価されました。

運転・保守に関する提案については、市内協力企業との連携体制構築をはじめとした、緊急時における迅速かつ的確な対応に向けた取組姿勢が評価されました。

また、価格のうち、特に維持管理費については、長期的な経済性が高い評価を得ました。

上記以外の評価項目においても、組織及び体制、実績、安全対策・耐震性並びに施設整備費において次点者を上回る評価を受け、最優秀者としてふさわしい評価となりました。

【株式会社宮本工業所】

火葬炉設備の基本的な考え方・型式・特徴については、建築面積の省スペース化にも資する提案がなされたことのほか、新たな技術の開発に取り組み、その活用を積極的に提案する姿勢が高く評価されました。

また、組織及び体制、実績、設計等業務協力の実施方針並びに運転・保守に関する提案の各項目について、最優秀者と遜色のない評価を得ましたが、その一方で、維持管理費の長期的な経済性について、最優秀者に及ばない結果となりました。

水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会は、富士建設工業株式会社が今後の業務を行うに当たり、

以下に示す事項への配慮が必要であると考えます。

- ・新斎場建設基本・実施設計業務への協力に当たっては、新斎場整備基本計画を踏まえるとともに、建設費用の低減に留意すること。
- ・情報ネットワークを活用して日常の操作員の負担を軽減し、緊急時対応の円滑化を図ることは重要である。一方で、悪意あるアクセスによる情報流出等が増加するなど、ネット社会の課題も顕在化している。IT機器類の日々の進化や、情報通信環境が変化し続けている状況も踏まえ、将来にわたり情報セキュリティ確保に万全の対応を図ること。
- ・火葬炉設備の設計・施工・維持管理については、今後の技術開発・技術革新も盛り込み、更なる整備費低減と維持管理費の削減が可能となるよう、より一層の取組に努めること。

今後、富士建設工業株式会社においては、提案内容の具体化に向けた市との協議・連携に当たり、上記の事項にも十分に配慮のうえ、真摯な対応に努めるよう求めます。

令和2年1月

水戸市新斎場火葬炉選定評価委員会
委員長 佐藤 理夫